

6年

理科

発電と電気の利用

ブロック型ビジュアルプログラミングツール「スタディーノ」を用いて授業を行いました。「赤外線フォトリフレクタ」という人感センサーを使い、実際に自動ドアのプログラムを作る活動を通して、「電気を有効利用するためにどのようにプログラミングすればいいのか」や、「プログラムされた機器がなぜ身の回りにたくさんあるのか」について考えました。

プログラムをペアで話し合い、動きを組み合わせさせていきました。

